

# 編集後記

澤井先生の講演、橋下市長のもと、今大阪市で何が起きているのかを丁寧にお話していただきました。区割りや財政調整をはじめ様々な自治をめぐる問題点を提起していただき、マスコミの報道では知ることができない情報に接し、貴重な時間を過ごすことができました。

東庄町長のインタビュー、町の歴史から始まり、まちづくりなど情報発信していただきました。今後も県内の首長インタビューは続けて行きたいと考えています。

宮崎先生の「数字で掴む自治体の姿」は1回休載しましたが、今号に復活しました。大学で学生センター長として激務に当たられている中、当センターのため講演、執筆で協力をいただき、頭が下がります。

巨大地震から1年半が経過しました。県内の被災地である旭市と香取市の現状を視察する機会がありました。旭市では、150世帯の方が仮設住宅に引き続いて居住しており、厳しい現実を再確認しました。こころのケアに携わる社会福祉協議会の皆様のご苦勞も聞くことができました。今後は住宅再建が困難なお年寄りの世帯も多い中、公的な復興住宅の要望など、高齢者対策が課題となっているようです。また、香取市では、歴史保存地区で被災した店舗を訪問し、自治労のボランティア支援で復興に歩み出している「おかみさん会」のお話も聞くことができました。

次回講演会は「官製ワーキングプア」を題材にした自治総研の上林陽治先生の「非正規公務員」を予定しています。自治体の現場を調査し、法令に則して研究を続けている先生の講演に期待します。

事務局長 高橋 秀雄

## 次回講演会予告

- 1 日時 2013年2月16日(土)  
15時(予定)
- 2 場所 千葉県教育会館(予定)
- 3 講師 上林 陽治  
(自治総研研究員)
- 4 演題 「非正規公務員」  
官製ワーキングプアの温床である自治体職場の現状を法制度ならびに法整備の状況などを中心に分かりやすく講演いたします

## 自治研ちば 既刊案内

2012年6月  
(vol.8)



- ・巻頭言 理事 総武法律事務所 弁護士 小川 寛
- ・自治研センター講演会 自然の法則・摂理を無視していた巨大広域開発への警鐘  
～巨大地震が物語った液状化・流動化・地波現象と津波～  
茨城大学名誉教授 楡井 久  
(日本地質汚染審査機構・医療地質研究所)
- ・千葉市長を迎え 対談：大都市問題 ー大阪都構想・大都市制度ー  
千葉市長 熊谷 俊人  
東京自治研究センター 研究員 佐藤 草平  
理事 千葉県議会議員 網中 肇
- ・自治体当初予算検討の視点 理事長 井下田 猛
- ・連載：「房総の自治脈」第8回 理事長 井下田 猛
- ・大震災・福島第一原発事故から1年の被災地を歩く  
ジャーナリスト 塚本 弘毅
- ・公共の担い手 市民向け公開講座の運営と公共サービス民営化の受託  
NPO法人ふれあい塾あびこ 副理事長 多田 正志
- ・シリーズ千葉の地域紹介 木更津市「ライジング木更津 笑顔の数が増えてゆく」
- ・子ども達の未来のために 千葉県議会議員(君津市選挙区) 石井 宏子
- ・佐倉市議会報告 佐倉市議会議員 井原 慶一
- ・新聞の切り抜き記事から 研究員 鶴岡 美宏

バックナンバーの申し込みは  
当研究センターまで 1部500円